

# 子育て支援パスポート事業の全国共通展開について

## 1 経緯

- 本県では、「はぐみんカード」(名古屋市は「びよか」)を配付して子育て家庭優待事業を平成19年度から展開しており、平成21年度からは名古屋市、岐阜県、三重県との相互利用を可能としている。

「あいち はぐみんプラン 2015-2019」の数値目標

項目名	現況	目標
子育て家庭優待事業登録店舗数	9,493 店舗 (H26)	10,000 店舗 (H31)

- **少子化社会対策大綱**(平成27年3月20日閣議決定)において、「**子育て支援パスポート等事業の全国共通展開**」の方向性が示されるとともに、数値目標として「子育て支援パスポート等事業への協賛店舗数を22万店舗(平成22年11月時点)から44万店舗(平成31年度末)に増加」が掲げられた。
- 平成27年5月に、全国知事会を通じて内閣府から全国共通展開の実施の意向が示される。また、平成27年10月13日付けで、内閣府から、平成28年4月に全国共通展開を開始するなど実施内容の詳細が示されるとともに、全国共通展開への参加意向についての照会。  
⇒ **愛知県は「平成28年4月から全国共通展開に参加」と回答**。独自に「びよか」を配付して優待事業を実施している**名古屋市についても、県と同時に全国共通展開に参加**。

【内閣府が示した実施内容】

- (1) **平成28年4月から全国共通展開スタート**  
⇒ 都道府県、利用者、協賛店舗の理解を得ながら、順次拡大していく。
- (2) 国の役割
  - ① 全国共通マークのデザイン制作
  - ② 全国共通マークステッカー、全都道府県マークのデザイン(データ作成のみ)
  - ③ 国の交付金の活用
  - ④ 全国的な店舗を有する企業の参画に向けた働きかけ
  - ⑤ 各都道府県での基礎情報(協賛店舗数、支援対象世帯等)の把握
  - ⑥ 全国共通展開の広報、事例集の作成・公表、好事例の公表
  - ⑦ 内閣府のホームページ等で本事業に関する情報・協賛店舗を紹介
- (3) **都道府県の役割**
  - ① 協賛店舗への参加の働きかけと周知、店舗数拡大の推進
  - ② 利用者への周知、広報
  - ③ 全国共通マークを入れたパスポートの作成・配付  
⇒平成29年4月までには全国共通マーク入りパスポートの作成を目指す。
  - ④ 県ホームページに協賛店舗の情報を掲載
  - ⑤ 協賛店舗数、提供サービス内容、利用状況等の現状把握

## 2 全国共通展開への参加状況

- (1) 平成28年4月1日から参加予定  
41道府県(愛知県を含む)
- (2) 平成28年10月1日から参加予定  
4都県(東京都、山梨県、大分県、沖縄県)
- (3) 平成29年4月1日から参加予定  
2府県(神奈川県、大阪府)

## 3 全国共通展開に向けた県の取組

- (1) 協賛店舗への周知等
  - ア 2月下旬に協賛店舗に対して制度周知用のチラシ及び全国共通展開への参加意向確認用はがきを郵送。
  - イ 参加意向を示した協賛店舗に対して、3月下旬に全国のカード一覧チラシ及び全国共通展開ステッカーを郵送。
- (2) 利用者への周知
  - ア 3月中旬に各市町村に利用者用チラシを郵送。
  - イ 市町村を通じて利用者に制度周知。

## 4 カード、ステッカーのデザイン

【はぐみんカード(新カード)】



全国共通展開ロゴマーク  
(国作成)

【全国共通展開店舗用ステッカー】

